再評価結果（平成１８年度事業継続箇所）

担　当　課：国道・防災課
担当課長名：鈴木　克宗

事業名	一般国道４８０号 父鬼バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	大阪府
起終点	自：和泉市松尾寺町 至：和泉市父鬼町			延長	7.25㎞

事業概要　一般国道480号は、大阪府と和歌山県を結ぶ広域幹線道路であるが、大阪府和泉市から和歌山県那賀郡に至る府県間においては、和泉山脈を峠越えし、勾配も急峻で、幅員も狭小なため、通貨車両の離合も困難であり、更に急カーブも多く交通の難所となっていることから、両府県間においてバイパス道路の整備を推進している。

Ｈ８年度事業化	Ｈ―年度都市計画決定 （Ｈ―年度変更）	Ｈ８年度用地着手	Ｈ８年度工事着手

全体事業費	約２２１億円	事業進捗率	２４％	供用済延長	１．４２㎞
計画交通量	５１００台／日				

費用対効果分析結果	B／C	総費用	総便益	基準年
	(事業全体) 2.3 (残事業) 3.1	(残事業)/(事業全体) 162/213億円 事　業　費：156/207億円 維持管理費：　6/6億円	(残事業)/(事業全体) 505/505億円 走行時間短縮便益：482/482億円 走行費用減少便益：15/15億円 交通事故減少便益：8/8億円	平成１７年

感度分析の結果

事業の効果等
・主要な観光地へのアクセス向上が期待される（和歌山県高野山へ観光客の増加）
・農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上
・現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する　等

関係する地方公共団体等の意見
父鬼バイパスは、大阪府・和歌山県の広域連携強化、地域の活性化等に重要な役割を果たすことが期待されており、和泉市・和歌山県関係各市による一般国道480号建設促進期成同盟会等により、早期概成を期待する強い要望を受けている。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等
和泉市に多種企業や研究施設が集積する産業団地「テクノステージ和泉」、行政施設、住宅等の形成を図る「トリベール和泉」が建設されている。

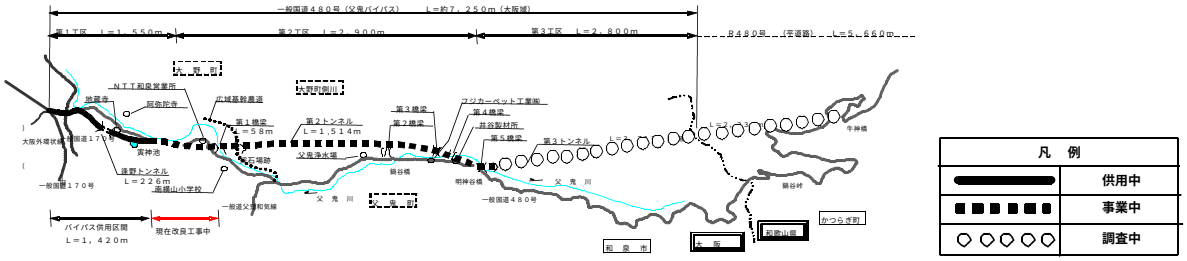
事業の進捗状況、残事業の内容等
第１工区L=1.55ｋｍの内、L=1.42ｋｍについては供用済み。残区間と第２工区についても着手中。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等
用地買収、工事ともほぼ順調に行われている。
第３工区（府県間トンネル）については直轄代行事業に向けて協議中。

施設の構造や工法の変更等
建設発生土の有効利用や再生材利用等によりコスト縮減に努めている。

対応方針	事業継続
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案し、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。